

【専攻単位】 研究指導概要（修士）

創域理工学研究科先端物理学 専攻

学年	時期	研究内容及び指導方法等
1年次	4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> 研究計画の立案と研究指導計画書の作成、ならびにアドバイザー教員の決定 研究に着手・遂行（基本スキルの習得、文献情報の収集、問題設定など） 専攻内の各分野の先行研究事例を学ぶ（5～7月の「先端物理学輪講 1A」）
	7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> 研究の遂行（知見の蓄積、問題の解決）、また、国内外の学会（分野によって時期が異なる）に参加する機会を活用 研究報告と計画の英語口頭発表の機会を設ける（7月、「先端物理学輪講 1A」）
	10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> 研究の遂行（知見の蓄積、問題の解決） 研究報告または文献紹介の機会を活用（「先端物理学輪講 1B」）
	1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> 研究の遂行（知見の蓄積、問題の解決） 研究進度に応じ、学会発表または論文投稿を検討 関連課題を研究して研究室を離れる上級生から、研究上の知見を引き継ぐ これまでの結果に基づき、翌年度に向けて研究計画を再考
2年次	4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> 研究指導計画書の作成 研究の遂行（知見の蓄積、問題の解決） 研究報告または文献紹介の機会を活用（5～7月の「先端物理学輪講 2A」）
	7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> 研究の遂行（知見の蓄積、問題の解決） 研究進度に応じ、国内外の学会講演または論文による成果発表の機会
	10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> 研究の遂行（これまで実施してきたことをまとめる） 研究報告の英語口頭発表の機会を設ける（10月、「先端物理学輪講 2B」）
	1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> 修士論文の執筆、主査・副査の決定 修士論文の完成・提出 修士論文発表会 修士論文の審査と合否の判定